令和７年度　基本評価調書	所管部局	経済部	所管課	次世代半導体戦略室

施策名	半導体関連産業の振興	施策コード	0511
政策の柱	デジタル	政策体系コード	1(4)B
関連重点戦略計画等	北海道創生総合戦略、知事の基本政策	事務事業数	10
特定分野別計画	北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン		
SDGs		総合判定	概ね順調

予算額（千円）	R5	120,990千円	R6	100,934千円	R7	888,391千円

施策目標	ラピダス社の立地を契機として、半導体の製造、研究、人材育成等が一体となった複合拠点を実現し、すべての産業へのＤＸ化を進める「北海道デジタルパーク」を展開する中で、その効果を道央圏のみならず全道に波及させる。
現状と課題	（次世代半導体製造拠点整備への支援） 複合拠点の実現に向けては、まずはラピダス社が進めている次世代半導体の量産技術の確立を成功させることが何よりも重要であり、必要な支援に迅速に取り組む必要がある。 （複合拠点の実現） 複合拠点の実現に向けて「半導体関連産業の集積」、「イノベーションの創出」、「人材の安定供給」に取り組むほか、全道への効果の波及に向けて、本道に優位性のある農林水産業や観光業などの産業や暮らしのスマート化を図る「デジタルの好循環の全道展開」や、地域の魅力をさらに高めることで「地域の付加価値の向上」をさせ「地域経済の活性化」につなげる必要がある。 また、製造、研究、人材育成等が一体となった複合拠点の実現、半導体エコシステムに向けて、半導体製造拠点をはじめとする産業の集積に加え、技術革新やイノベーションによる新産業の創出、産学官連携による研究成果の社会実装、高度な知識や技術を持つ人材を育成する必要がある。

<主な取組>

今年度の取組	（次世代半導体製造拠点整備への支援） ラピダス社が目指す2027年の量産製造開始に向けて、国や千歳市などと連携し、インフラ整備や人材育成など、必要な支援に取り組む。 （複合拠点の実現） 国内外の半導体関連の展示会に出展するほか、道内企業の半導体関連産業への参入促進を図る参入促進マッチングセミナー等を開催し、関連産業の集積に向けた取組を実施するとともに、半導体関連産業の集積を目指すにあたり、今後のインフラ整備や誘致活動、道内企業の取組検討に活用するため、道外の半導体関連企業を対象にアンケート調査を実施する。また、将来的な人材不足が見込まれるため、高校生を対象とした出前講座や小中学生を対象とした体験教室等を開催し、若年層に対する興味関心・意欲喚起に向けた取組を実施するほか、ラピダス社のプロジェクトや半導体・半導体関連産業などについて、道民の皆様の理解を深めていただくため、10地域においてセミナーを開催する。 さらに、札幌市・千歳市と連携し、北大・千歳科技大のリソースを活用して、教育プログラムの構築や教育研究拠点の整備を進めるとともに、両大学と半導体企業との共同研究を支援するほか、コーディネーター等を配置し、道内企業の半導体関連産業の参入促進や地域の産学官連携の促進を図る。
実績と成果	（次世代半導体製造拠点整備への支援） ラピダス社の水利用に関し、住民の安全・安心を確保するため、令和7年1月に「Rapidus株式会社の水利用に関する協定」を締結した。 （複合拠点の実現） 半導体関連産業の集積を図るため、半導体に関する全国的な展示会への出展（国内3カ所、海外1カ所）や、道内企業の半導体関連産業への参入促進・取引拡大を目指した参入促進セミナー（3回）を開催した。また、若年層の半導体や半導体関連産業への理解を深めるため、高校向け出前講座（25校（うち2校は教育庁事業））や小中学校向け体験教室（16校）を開催したほか、道民の理解促進を図るため道内14カ所で道民向けセミナーを開催した。 ※いずれも令和6年度の実績

参考HP①	次世代半導体産業立地推進ポータルサイト	https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/zhs/index.html
参考HP②		
参考HP③		

令和７年度　基本評価調書	【1(4)B_0511】半導体関連産業の振興

<指標分析>　*成果指標の基準　要件(1)：アウトカム指標、要件(2)：「施策目標」や「現状と課題」に直結、要件(3)：総合計画等に掲げる指標*

成果指標①	増減方向	増加	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
半導体関連企業の出荷額			億円	R2年度	R3年度	R4年度	R15年度	－	－
			目標値	－	－	－	13,162.0		
			実績値	1,767.0	2,108.0	2,706.0			

設定理由 *要件(1)(2)*	半導体・デジタル関連産業の振興に向けた取組状況の成果を測る指標であり、複合拠点の実現に向けた「半導体関連産業の集積」の取組の成果を測る指標として設定 ※年度ごとの目標値については、次世代半導体の量産開始時期を考慮し設定しない
公表時期	毎年調査、公表時期検討中
根拠計画等 *要件(3)*	北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン

分析（主な取組と成果）

各セミナーへの参加者数などから道民の関心の高さがうかがわれることから、まずはラピダス社のプロジェクトの成功に向けて必要な支援に取り組むほか、半導体の製造、研究、人材育成等が一体となった複合拠点の実現、全道への効果の波及に向けて継続して取り組んでいく。

成果指標②	増減方向	増加	単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
半導体関連企業による道内総生産への影響額			億円	R3年度	R4年度	R5年度	R15年度	－	－
			目標値	－	－	－	10,259.0		
			実績値	－	－				

設定理由 *要件(1)(2)*	半導体・デジタル関連産業の振興に向けた取組状況の成果を測る指標であり、全道への効果の波及に向けた「地域経済の活性化」の取組の成果を測る指標として設定 ※年度ごとの目標値については、次世代半導体の量産開始時期を考慮し設定しない
公表時期	令和16年度以降
根拠計画等 *要件(3)*	北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン

分析（主な取組と成果）

各セミナーへの参加者数などから道民の関心の高さがうかがわれることから、まずはラピダス社のプロジェクトの成功に向けて必要な支援に取り組むほか、半導体の製造、研究、人材育成等が一体となった複合拠点の実現、全道への効果の波及に向けて継続して取り組んでいく。

成果指標③	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*	
公表時期	
根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

成果指標④	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*	
公表時期	
根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

成果指標⑤	増減方向		単位	過年度①	過年度②	最新年度	最終目標	達成率	判定
								－	－
			目標値						
			実績値						

設定理由 *要件(1)(2)*	
公表時期	
根拠計画等 *要件(3)*	

分析（主な取組と成果）

令和７年度　基本評価調書	【1(4)B_0511】半導体関連産業の振興

<取組分析（連携状況、緊急性・優先性）>

連携状況	（課題） 次世代半導体製造拠点の円滑な整備、稼働をはじめ半導体の製造、研究、人材育成等が一体となった複合拠点の実現、全道への効果の波及に向けて、関係機関が密接に連携しながら効果的・機動的な支援を進めることや、周辺市町村及び商工団体をはじめ、道民の皆様の理解を得ることが必要。 （取組と成果） ・北海道次世代半導体産業立地推進連携会議を開催し、関係機関で情報共有を図るとともに、R5年度に設置した関係市町村からなる市町村ネットワークを活用して適宜情報の共有を行った。 ・国が設立した「北海道半導体人材育成等推進協議会」に参画し、道内の行政や教育機関、経済団体、企業など幅広い関係機関との連携のもと、半導体関連産業の人材育成・確保及び関連産業の取引活性化に資する取組に積極的に貢献した。
緊急性・優先性	（課題） ・次世代半導体の製造拠点の円滑な整備、稼働については、国家プロジェクトであり、かつ2027年の量産製造開始に向けてハイスピードでプロジェクトが進行していることから、その成功に向けて、まずは周辺市町村及び商工団体をはじめ、道民の皆様の理解を得つつ、必要なインフラの整備や人材育成・確保等に迅速に対応する必要がある。 （取組と成果） ・次世代半導体の研究開発や製造拠点の円滑な整備や複合拠点の実現に必要なインフラ及び教育・住環境の整備等に向けた取組の推進、半導体関連産業の集積促進に向けた取組の推進などについて、国に対して要望した。 ・国内半導体製造拠点の整備が進む６道県が連携して、産業集積・サプライチェーンの強靭化やインフラ整備等、安価かつ安定的でクリーンな電力供給について、国に対し要望した。

<取組分析（その他統計数値等）>

その他統計数値等①	過年度①	過年度②	最新年度
道民向けセミナーへの参加数	－	R5年度	R6年度
	－	205名	252名

（課題）

本道では半導体関連産業の集積が低いため、複合拠点の実現に向けて道内企業の参入促進・取引拡大や国内外の半導体関連企業の誘致など道内のサプライチェーンの強化を図る必要がある。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
参加者へのアンケート結果では、半導体関連事業への参入意向が「高まった」「やや高まった」が過半数を占めており、道内企業の参入意欲の高さがうかがえる。	a

その他統計数値等②	過年度①	過年度②	最新年度
高校生向け出前講座・小中学生向け体験教室の実施回数	－	R5年度	R6年度
	－	高校7校	高校25校（うち2校は教育庁事業） 小中学校16校

（課題）

本道では、半導体人材が不足しているため、複合拠点の実現に向けて、教育機関等と連携し、半導体分野の認知度向上や教育内容の充実、即戦力人材の育成など人材の安定供給を図る必要がある。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
今後、ラピダス社の量産製造開始や関連産業の集積に伴い、半導体人材が不足することが見込まれており、若年者の半導体への認知度の向上を図るためのさらなる取組が重要	a

その他統計数値等③	過年度①	過年度②	最新年度
道民向けセミナーへの参加数	－	R5年度	R6年度
	－	1,669名	1,515名

（課題）

半導体関連産業の振興に向けては、行政や経済団体、企業、教育機関、支援機関と緊密に連携するとともに、道民の皆様の理解と共感を得る必要がある。

（取組状況や実績、今後の見込みなど）	判定
参加者の約85%が「満足」、「理解できた」と回答しており、特に「ラピダス社のプロジェクト成功」、「全道への波及効果」に関心を持っている。	a

令和７年度　基本評価調書	【1(4)B_0511】半導体関連産業の振興

<一次政策評価（実施機関が行う政策評価）>　※「指標判定」と「その他統計数値等」はそれぞれ指標等の平均を算出

指標判定	－	連携状況	○	総合判定	概ね順調
		緊急性・優先性	○		
		その他統計数値等	a		

■判定が「D」の成果指標
（該当なし）

	対応方針番号	内容
今後の対応方針	①	・ラピダス社のプロジェクトの成功に向けて、インフラの整備など必要な支援に迅速に取り組む
	②	・複合拠点の実現や道内への効果の波及に向けて、R6年3月に策定した「北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン」に基づき各般の取組を戦略的に展開していく。
	③	

<二次政策評価（知事が行う政策評価）>

二次政策評価意見	【施策の緊急性・優先性】 複合拠点の実現に向け、効果的・効率的な執行体制の構築を進めること。

前年度の二次政策評価意見（区分）
複合拠点の実現に向け、効果的・効率的な執行体制の構築を進めること。

<一次政策評価を踏まえた対応状況（３月末時点）>

	対応方針番号	内容
翌年度の対応状況	①	半導体関連企業の誘致や道内企業の参入促進・取引拡大を図るため、半導体関連の国際展示会への出展やガイドブックの作成、セミナーを開催するほか、産学官のネットワーク構築・強化に取り組む。また、人材育成や確保に向け、高校生向けの出前講座や小中学生向けの体験教室を実施するほか、半導体や半導体関連産業等についての道民理解を深めるためセミナーを行う。さらに、札幌市及び千歳市と連携し、北海道大学・公立千歳科学技術大学の資源を活用して半導体人材の育成と研究開発を一体的に推進する。
	②	R8年３月に改訂予定の「北海道半導体・デジタル関連産業振興ビジョン（改訂版）」に基づき各版の取組を戦略的に展開していく。
	③	

<二次政策評価意見への対応状況（３月末時点）>

二次政策評価意見への対応状況	複合拠点の実現に向け、効果的・効率的な執行体制の構築を進めてまいる。

令和７年度　事務事業評価調書	施策名	半導体関連産業の振興	施策コード	0511

整理番号	重複施策	経費区分	事務事業名	事務事業概要	課・局室名	前年度からの繰越事業費（千円）	事業費（千円）	うち一般財源	執行体制 本庁	執行体制 出先機関	執行体制 人工計	フルコスト（千円）	一次政策評価 対応方針番号	一次政策評価 方向性	二次政策評価意見	３月末時点における対応 二次評価意見への対応状況	３月末時点における対応 翌年度の方向性
1201		事務	次世代半導体戦略室総合調整業務	次世代半導体戦略室の総合調整に関する事務	次世代半導体戦略室	0	0	0	3.0	0.0	3.0	24,525			【施策の緊急性・優先性、事務事業の有効性】 ※基本評価調書 <二次政策評価>参照	※基本評価調書 <二次政策評価意見への対応状況>参照	
1202		事務	ラピダス社との総合調整業務	ラピダス社との総合調整に関する事務	次世代半導体戦略室	0	0	0	1.0	0.0	1.0	8,175					
1203		事務	半導体関連産業の振興に関する企画調整等の事務	本道の半導体関連産業の振興に向けた施策の立案及び各機関との調整	次世代半導体戦略室	0	0	0	2.0	0.0	2.0	16,350					
1204		事務	物流や施設・周辺整備等に関する事務	ラピダス社の立地に向けた物流や各種インフラ等に関する関係機関等との調整	次世代半導体戦略室	0	0	0	3.0	0.0	3.0	24,525	①	改善（取組分析）			改善
1205		事務	半導体関連産業の集積等に関する事務	本道への半導体関連産業の立地促進に向けた各種事務や北海道産業振興条例等に基づく認定事務	次世代半導体戦略室	0	0	0	0.5	0.0	0.5	4,088					
1206		事務	人材育成・確保に関する事務	半導体人材の育成・確保に向けた関係機関等との調整など各種事務	次世代半導体戦略室	0	0	0	0.5	0.0	0.5	4,088					
1207		事務	北海道次世代半導体産業立地推進本部等の各種会議に関する運営事務	北海道次世代半導体産業立地推進本部等の各種会議の運営事務	次世代半導体戦略室	0	0	0	1.5	0.0	1.5	12,263					
1208		事務	北海道半導体人材育成等推進協議会に関する事務	北海道経済産業局が主催する北海道半導体人材育成等推進協議会への参画及び各種事務の実施	次世代半導体戦略室	0	0	0	0.5	0.0	0.5	4,088					
1209		一般	半導体産業に係る複合拠点化事業費	ラピダス社の立地による経済効果を全道に波及させるため、複合拠点の実現にむけた取組を実施	次世代半導体戦略室	0	85,354	70,020	7.0	0.0	7.0	142,579	②	改善（取組分析）			拡充
1210		一般	半導体産業に係る複合拠点の実現に向けた北海道大学等との連携事業費	半導体産業に係る複合拠点の実現のため、北大等と連携して研究・人材育成等を実施	次世代半導体戦略室	0	803,037	522,777	2.0	0.0	2.0	819,387					
計						0	888,391	592,797	21.0	0.0	21.0						